

総合福祉センター整備に係る実施報告

総合福祉センターの整備にあたり、あり方検討に係る経緯・経過、整備に係る町の考えなどについて、住民の皆さまに理解を深めていただくため、下記の日程で説明会を開催しましたので報告します。

1 実施状況

実施日	会場	参加人数
令和7年5月28日(水) 14時～15時30分	ふらっと六瀬 多目的室A	22人
令和7年5月29日(木) 18時30分～21時	文化体育館 小ホール	68人

2 意見概要について

NO	項目	件数	内容
1	町財政に関すること	2	●財政が厳しいとあるが、基金などは枯渇するのか ●コンサル委託料は高額ではないか。
2	工事費に関すること	6	●工事費を示してほしい。
3	スケジュールに関すること	3	●施設の利用期限など、今後のスケジュールを示してほしい。
4	機能の見直しに関すること	10	●様々な方がゆうあいセンターを訪れ、社会福祉協議会の事業を知ってもらうことは良いことだと思う。 ●住民から意見を聞き、機能の見直しなども変更が有り得るのか。 ●廃止される機能、新しい機能を具体的に示してほしい。
5	高齢者デイサービスに関すること	7	●北部の方や手厚い支援が必要な方など他の施設では受入が困難な方も通所しており、廃止しないでほしい。
6	一般浴室に関すること	5	●お風呂はコミュニティの場、災害時の活用など、たくさんの方が利用しており、廃止しないでほしい。
7	コミュニティドームに関すること	1	●コミュニティドームはどうなるのか。
8	食堂に関すること	1	●食堂はどうなるのか。
9	子育て機能の強化に関すること	2	●子育て支援の場とはどのようなイメージか。 ●子育て支援センターが移設するのか。
10	周知・情報発信に関すること	2	●ホームページだけでなく、情報発信のやり方を見直

	ること		してほしい。 ●町が抱える課題を広く住民に示してほしい。
11	その他	5	●南田原の町有地にゆうあいセンターを移設してはどうか。 ●福祉避難所の設置箇所を点在させてはどうか。 ●人材育成・教育学習支援の場とはどのようなイメージか。 ●ソフト面だけでなく、ハード面も民間事業者委託してはどうか。 ●住民投票で決めればいいのか。

3 意見に対する回答について

NO	項目	町の考え
1	町財政に関すること	行財政改革に積極的に取り組んでおり、早期に枯渇することはない見込みです。 コンサル委託料については、改修工事に係る設計業務も含まれ、有資格者による法的・技術的な検証を行っています。
2	工事費に関すること	現在行っている基本設計は、あくまでも概算額を算出するものであり、今後実施設計を行い、必要な予算額が確定するものになります。そのため、現時点では明確な金額の提示が困難ですが、説明の機会を別途設ける予定です。
3	スケジュールに関すること	住民への説明会等により丁寧な事業推進を図っており、整備方針（案）の想定スケジュールより遅延する見込みです。 現在の施設は少なくとも令和7年度中は利用可能とお考えください。
4	機能の見直しに関すること	様々な立場の方から意見をいただいております。町の住民サービスや福祉サービスをより良いものにするため、新たなニーズへの対応や維持管理費の軽減など、柔軟に施設を活用でき、将来世代に過度な負担とならないよう、くらしの総合施設としての運営を目指しています。 具体的な機能の見直しについては、いただいたご意見を精査した上で、別途説明の機会を設ける予定です。
5	高齢者デイサービスに関すること	運営者である、町社会福祉協議会からは今後の事業継続は困難と伺っています。 介護保険事業として町内需要は充足しており、町内や近隣で現利用者の受入れは可能な見込みであるため、デイサービス機能の見直しを検討しています。
6	一般浴室に関すること	お風呂の維持には、年間数千万円の維持費と、高額な設備の更

	と		新費用が必要なため、継続は困難と考えています。 災害時の備えとしてのお風呂の維持は、優先順位としては低いと考えます。
7	コミュニティドームに関すること		現在、スポーツセンターや町営テニス場によりテニスができる環境は整備されており、ドーム機能の見直しを検討しています。
8	食堂に関すること		食堂は現在の利用状況や今後の施設機能を検証する中で、必要性は低いと考えています。
9	子育て機能の強化に関すること		整備方針（案）には、機能の一例として児童発達支援センターを挙げていますが、事業者の公募を経て、具体的なサービス内容が決定される予定です。 子育て支援センターとも連携を一層深めていく必要があり、仕組みづくりを検討していきます。
10	周知・情報発信に関すること		今後改善に向けて、検討していきます。
11	その他	南田原の町有地を活用しては？	土地の活用制限の問題があり、現在、土地活用に向けた議論を進めている状況です。現時点では総合福祉センターを移設する計画はありません。
		福祉避難所を点在させては？	避難所の質や配置は別途検討しているところです。福祉センターの避難所は専用スペースではなく、平時は会議室などの柔軟な運営が可能となる設計を検討しています。
		人材育成、教育学習支援とは？	ボランティアの育成や手話のスキルアップを目的とした講座、各種相談機能との連携を図りながら、福祉教育の向上を図ります。 社会福祉会館の教育支援センターとも連携を強化しながら福祉学習の取り組みを進めていきたいと考えています。
		ハード面も民間事業者を活用しては？	サウンディング調査の結果から、ハード面も含めた民間事業者の活用は困難と考えており、ソフト面に関して民間事業者に委託する方針で考えています。
		住民投票で決定しては？	住民説明会の機会を設け、住民の皆さまと対話を重ねる中で、町として慎重に判断していきます。

以上